

玉川福祉作業所

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-7-2
TEL.03-3707-0498 FAX.03-3707-7589
玉川福祉作業所 等々力分場
〒158-0082 東京都世田谷区等々力2-13-4
TEL.03-5707-1330 FAX.5707-1332
【事業主体】社会福祉法人大三島育徳会



自分が選んで自分で決める
私らしい生活づくり

smile is best
happy is good

ホームページが新しくなりました
ご覧ください
<http://www.oomishima.jp/>

主な行事予定（3月～6月）

3月28日・29日 利用者休業日
4月1日 入所式
4月5日 利用者・保護者合同説明会
6月某日 障害者オムニバス展(高島屋)

編集後記

桜の季節が巡ってきました。春は別れと出会いの季節と言います。学生時代は大きな環境の変化がありましたが、今になっても春になると泣きたいような、それでいてワクワクするような気分になります。新生活をスタートする方もいるでしょう。どんな生活をするか、どんな人生を送るか、最後は自分で選んで自分で決めること。そんな中、先だって東京地裁で「成年後見制度で選挙権喪失は違憲だ」という判決が下されたことに（後見人が付いていても自分で選挙の一票を投票できるという判定です。）改めて自己決定権の重さを感じました。さて、玉福はというと全事業全支援において、自分が選んで自分で決める生活応援キャンペーン開催中です！（*^_^*） M

新しい仕事に大忙し

群言堂さんから新しい製品の依頼が来ました

昨年度から、機織り製品などの受注を通してお付き合いのあった、群言堂（服飾・生活雑貨・古民家の宿・飲食店などを展開）の代表取締役、松場登美さんが、島根から玉福を訪ねていらっしゃいました。利用者の作業の様子やクラブ活動で作った製品を見て下さりました。創造性豊かな皆さんの作品が登美さんの創作意欲を刺激し、商品に結び付いたたくさんのアイデアが浮かんだようです。刺し子・裂き編み・裂き織りの試作品をご覧になり、目が不ぞろいだったりするけれどそこが面白くて、刺し手によって表情が全く違う製品に、大量の注文をいただきました。手芸の好きな女性利用者さんが中心になって仕事を進めてきましたが、最近は男性利用者も挑戦して、裁縫男子も誕生しています。すでに製品になって、有名百貨店で、玉福の利用者が製縫したパーツを使ったバックが売られています。



玉福同窓会準備会開催

春分の日、同窓会準備会が開かれました

玉福を卒業されたOB・OGによる同窓会を立ち上げようと、第1回の準備会が3月20日春分の日に開かれました。当日は、14人の卒業生と家族が集まり玉福時代の映像を見て、昔を懐かしんだり近況を報告し合いました。皆さん玉福を卒業した後、自分らしい生活を歩んでいる様子です。毎日、大変なこともあるけれど玉福に来て仲間と会えると安心する、また頑張ろうと思える、故郷みたいな場所がある、これからも、そんな同窓会にしていきたいですね。



Oomisimaikutokukai

広報 たまがわ

発行元：世田谷区立玉川福祉作業所

Tamagawa



「感謝」と「感動」

障害者支援局長 比留間 孝子

3月春、新たな芽ぶきの頃、毎年この時期、一年間頑張って予想以上の事業成果が生まれたり、利用者の皆さんとの楽しい思い出など振り返りながら、さまざまな人との出会いと別れを通じていつも心に浮かぶ言葉は“感謝”と“感動”です。今年度も利用者の皆さんからたくさんの感動を与えてもらいました。

また、地域の関係機関の皆さん、ボランティアの皆さん、ご家族の皆さんに今年度も支えられた一年でした。言い尽くせない程「ありがとう」の言葉を表します。

施設を利用されている利用者の皆さんに対して、満足度の高い福祉サービス提供が出来ているかどうか、法人内でも日常の実践報告会を高齢者介護、障害者支援各々で実施していますが、この度、「第4回せたがや福祉区民学会」に『知的障害のある人の多様な就労スタイルー住み慣れた地域で働き続けるためにー』について実践研究発表する機会に恵まれました。主任支援員2名の堂々たるプレゼンとその二人を見守る法人スタッフの多さに、改めて法人内の人材育成の熱意が伝わりました。これまで、作業所内での支援や事業の取り組みに等について、世田谷区始め外部の皆さんに広く評価して頂ける取り組みをしてこなかったもので、今後は少しずつ福祉に携わる皆さんと育ち合い高まり合いながら、職員の支援力・介護力のレベルアップに繋がっていかないと考えています。

3・11東日本大震災から早2年目、利用者・職員で被害に合われた方々のご冥福と復興を願って黙とうを捧げました。『夏雲や 生き残るとは 生きること』（岩手黒澤尻北高 佐々木達也さん）

青森交流記

今年も青森に義援金を届けることができました

玉福まつりや地域の販売会で、皆さんからお預かりした、東北復興の願いがこもった義援金を届けに行ってきました。2月の青森八戸は一面の銀世界でした。赤いポストも雪にすっぽり埋もれて、東京では考えられない光景の中、八戸市長に無事に皆さんの気持ちを手渡すことができ、ほっと胸をなでおろした代表メンバーです。



八戸市長と玉福代表の面々

主な記事：

「感謝」と「感動」 青森交流記	1
玉福だより	2
分場だより	2
チャレンジ就労	3
リスクマネジメント 委員会報告	3
行事予定 新たな仕事 同窓会準備会	4

玉福だより

平成24年度もこの3月で終わり、4月からは新規の利用者さんを迎え平成25年度の幕開けです。ここで、楽しかった24年度のイベントを一気に振り返ってみましょう！ さあLet's Go！



緊張した入所式



多摩川の河原でお花見



アート展外出



班外出



宿泊旅行で会った
まるちゃん



宿泊、夜の宴会



迫力の空中ブランコを見
れたサーカス



玉福まつりではたくさん
のお客様と出会えました



チーム別外出



新年のお餅つき



新成人のお祝い

25年度も合言葉は
Smile
is
Best!



分場だより



クラブ活動のカラオケは
みんな大好き。



1日外出。ドラえもん
会いました。



今年の干支、大きな蛇を
まつる奥沢神社にも行き
ました。



等々力渓谷へ、ウォーキ
ング。

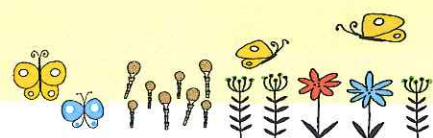


宿泊旅行。みんな笑顔で
ハイチーズ



春の交流会。パフォー
マーの方たちと記念撮影

今年度は、これまでのクラブ活動に
加え、利用者の皆さんの希望で地域の
名所を訪ねるウォーキングや一日外出
を楽しみました。



Challenge!! 就労

発表前の綿密な打ち合わせ



発表プレゼンの一部です

5. 多様な就労スタイルの必要性

○その人の能力・特性に応じた多様な就労スタイルの提供
○利用者本人による就労スタイルの選択と決定



11. スモールステップ



12. 多様な就労スタイル



リスクマネジメント委員会より

法人大規模災害訓練

3月9日法人本部博水の郷で、大規模災害を想定した災害訓練が行われました。消防署や近隣の方と、実際の避難の場面や炊き出しのシュミレーションを行いました。玉川福祉作業所からも利用者、職員が参加。緊迫したムードの中、消化ホースを持って火災を食い止めたり、現状を把握するホワイトボードが刻々と変化するのを見ながら、『本当に大災害が起こったら、』と考えると改めて気が引き締まる思いでした。

天災は防げませんが、諦めず日ごろから備えること。いざという時も最善を尽くせるよう訓練すること。これからも法人をあげて真剣に取り組んでいきます。



就労移行・世田谷区民学会発表報告

発表者

久米井・飯岡

昭和女子大学で、2月23日に行われた世田谷福祉区民学会で、玉福の就労移行支援の取り組みの発表にチャレンジしました。それぞれの能力や希望に合わせた多様な就労スタイルを提案し、実現することで、どんな人もその人に合った働き方ができるようステップを小さくした実践を行っています。

おやこ防災訓練

等々力分場の地域町内会に尾山台コミュニティがあります。そこで行われる、年に一度の防災訓練に毎年、等々力分場も参加します。起震車の体験や初期消火訓練、AEDの体験をし、最後には地域の皆さんと炊き出しを食べながら交流しました。回数を重ねるごとに、地域での顔見知りも増えてきました。



どんなマニュアルより、こうした活動を通して、地元の皆さんの顔と顔が繋がったネットワークを作っていくことこそが、大震災時には大きな助けになると思います。